

お父さん、お母さんも熱演しました

# 地域を挙げて学区総合文化祭



山田村に来たかくや姫



役者が勢ぞろい



山田村の働き者



観客は、大ウケ

山田小学校の学校行事には、いつも地域のかたが大勢参加してくれます。運動会や文化祭は、地域を挙げての行事です。中でも学区総合文化祭は、保育園児や婦人会、老人クラブなども参加するビッグイベントです。第1回の開催は、昭和56年ですから、27年前にさかのぼる伝統行事になりました。

このイベントのトリを飾ったのは、PTAの劇。最終回の演目は「むかしむかしのお話し・完結編」です。毎晩みんなで集まって、台本を考え配役を決めて、全員主役のつもりで練習を重ねてきました。

頑張り子供たちを見て、親だつて負けてはいられないと、始めた劇ですが、子供たちにも地域の方々にも大好評だつたようです。写真の表情を見ると、一番満足したのは、演じたお父さん、お母さんたちだつたかもしれませぬ。

山田の子供

山田の子供たちは、来客があると張り切ります。この規模の学校だと内弁慶になるのが普通なのになぜ？

山田学区文化祭で疑問が解けました。多数の観客の前で親が張り切つて、ここぞとばかりに名演技をするのです。

親の姿を見てこの子たちは育つていたのです。舞台に立つと生き生きとします。地域、保護者、職員の合作が山田の子供です。いい味を出しています。

校長 金澤 憲一